



てん ぼう 十坊

桐生市出身でブランド専属のファッションモデルとして活躍した、坂下天(たかし)さんが代表を務める刺繍デザインの工房兼店舗「十坊(てんぼう)」。本町一丁目、旧早政織物の工場をリノベーションし、2020年8月にオープンした。

十坊では大手ファッションブランドの刺繍加工をOEMで受けるほか、個人向けにはオンデマンドで刺繍を施すサービスも行う。Tシャツやスウェット、帽子、バッグなど1点から対応し、手描きのイラストからも刺繍用にデザインを起こしてくれる。集積型の繊維産地として刺繍業も盛んな桐生で作る唯一無二のアイテムは、本物志向で“被り”を避ける昨今のニーズに絶妙に合っている。



坂下さんは大学進学を機に上京。在学中からファッションモデルとして活躍し、2016年までの3年間はアメリカでも活動した。その後、ブランドの広告塔から、作り手側に転身。元々、幼いころからものづくりが好きで、刺繍は身に纏うことでその魅力を感じていたという。地元の刺繍工場で技術を習得後に独立。モデル活動や海外で培ったセンスと、研究を惜しまず磨いてきた技術が合わさり本物を作り上げる。

十坊が入る旧早政織物は桐生新町の典型的な機屋の構えをなし、昭和6～8年ごろに建てられた工場のほか、本町通り沿いの旧店舗や門、主屋、従業員宿舍、稲荷社などが残る貴重な産業遺産でもある。敷地の最奥にある工場は珍しいマンサードの屋根で、建物内に柱がない。設備の配置や内装の自由度が高く、「開放的なスペースが気に入った」と坂下さん。自身も積極的に改修を施すことで、織都繁栄に貢献したものづくりの場を本来の姿に復活させた。

十坊にはホームページはなく、あえてSNSでの発信もしていない。「現地に足を運んでもらい、実物の良さを感じてほしい」と、坂下さん想いはものづくりのまち・桐生の美点そのもの。小売りに特化した拠点づくりも構想中で、人とモノの繋がりで地域をより「面白く」していく。



旧織物工場を刺繍工房に センスと技で桐生らしい本物を

【十坊】

●住所／桐生市本町1-4-13 ●電話／080-4834-1992